



蒼生会 眞崎 寿浩 議員

アフターコロナの対策は万全なのか

市長

観光プロモーション、オンラインによる広告宣伝等を強化していく

消防団員の家族慰労金  
廃止の説明について

**質問** 事務事業評価において、縮小又は廃止と判断された事業については対象の方々にしっかりと説明しているか伺う。

**答弁** 対象者が明確でない場合は難しいが、対象者が明確な場合には、しっかりと相手方に説明をさせていただき、ご理解いただくよう、各課に指示を出しているとのことで、説明は尽くしていると考えます。

**質問** 私も消防団員の一人として、この度の消防団員家族慰労金支給事業の廃止については、団員がモチベーションを維持ができるのか心配である。本事業廃止について団にしっかりと説明をしたのか。また、その際に出された意見等はどういうものだったのか伺う。

**答弁** 事務事業評価の結果を踏まえ、昨年11月の消防団正副団長会議と12月の分団長会議の席上で、令和4年度をもって廃止することを話した。会議の席上では消防団員家族慰労金の廃止についてご理解いただき、意見は無かった。併せて、各分団や本部所

属の団員まで周知いただくようお願いをした。

4月から消防団員全階級の年報酬と出勤報酬が増額となるので、モチベーションの維持、向上と併せて新規団員の確保に努めていきたいと考えている。

アフターコロナの対策について

**質問** 最近テレビやインターネット等で、他の地域がアフターコロナを見越して、先手・先手で手を打っているような場面を目にする。秋田県を代表する観光地である当市であるが、アフターコロナを見越してどのようなことを考えているか伺う。

**答弁** まずは安全側の対応として、一般的な衛生対応等は、引き続き各事業者には徹底していただきつつも、積極的に観光客を迎える方向で努めていきたいと考えている。

誘客促進の観点からは例えば角館の桜まつり等、できるだけコロナ禍前と同じ水準での開催ができるよう検討し、関係者の方々と調整していく。そのために、観光大使の方々の協力を得

ながら観光プロモーション強化、オンラインによる広告宣伝等を強化していく。

海外誘客については、他の地域よりも一歩進んだ観光誘客を実施するため、まずは徹底した情報収集、変化することが予想される旅行需要に対応し、可能な地域の受入体制づくりに取り組んでいく。

仙岩峠の今後の整備について

**質問** 仙岩峠では、2月1日に除雪のため5時間通行止めになり、足止めされた車が多数あった。物流は勿論であるが、観光においても安心・安全な道路が必要であり、その

強靱化に向けての見解を伺う。

**答弁** 仙岩トンネルは47年も経過しており、老朽化が進んでいる。国道46号道路整備に関する勉強会を開催し、課題の認識共有や原因分析、対策の必要性等の意見交換を行っている。この結果を受け、盛岡秋田道路整備促進形成同盟会では、生保内卒田間の整備を最優先することを決定した。

仙岩峠整備については生保内卒田間の次の整備優先度評価になるが、国土交通省や関係機関に要望していく。

(小田島広仁記)



■トンネルの老朽化が進んでいる仙岩峠

# 財政状況の立て直しを、どうするのか

小田島 広仁 議員



## 市長 法定外目的税の導入、補助金等獲得戦略の検討を進める

### 財政の立て直しについて

**質問** 全国の貧乏自治体ランキング市区編で18位となり、不安を抱いている市民も多い。施政方針で財政状況を立て直すために、法定外目的税の導入と補助金等獲得戦略を検討することだったが具体的な考えを伺う。

**答弁** 歳入確保策として法定外目的税である宿泊税の導入について検討している。今後の市内の宿泊者数の回復基調を見据えながら、宿泊税導入による歳入確保の可能性を探っていきたい。

補助金等獲得戦略については、市民生活を豊かにする事業と、国・県の補助事業のマッチングを各課においてアンテナを張り出し、情報収集を強化し検討を進めたい。

**質問** 昨年9月の一般質問で提案した入湯税の増税は、温泉施設の方々も増税して観光振興に充てて欲しいとの声が多いが、市役所内では検討しているか。

**答弁** 現在、コロナ禍からの回復状況を見守っている段階である。今後は、観光業界への影響や法定の財政需要の規

模、想定負担額等について検討が必要である。また、入湯税増税の対象となる業者の方々と、早めに意見交換会を開催したい。

### 第3次観光振興計画の延期について

**質問** 延期と判断したのはいつ頃か。また、ワーキンググループや策定委員会の開催状況について伺う。

費用については、当初の契約価格の変更や追加経費が発生することはないのか伺う。

**答弁** 想定以上に分析や議論の方向性を出すのが難しく、受託業者が供した資料が議論する上で市の担当委員等が望んでいる資料ではなく、論点が定まらなかった。

また、観光による市民幸福度の向上など、より深い検討の必要性を感じたことから、3回のワーキンググループ、2回の策定委員会を開催後の12月末に策定期間の延期について検討を開始した。その結果、期日ありきでなく、しっかりとした計画を策定することを委託業者と確認した。加えて観光庁が3月までに新たな観光立国推進基本計画をまとめる事が分かり、この

国の方針を反映させることとし、1月初旬に委託業者と延長を確認後、1月下旬の第3回策定委員会で延長の了承をいただいた。策定期間延長に伴う契約額の変更はない。

### 三セク（株）おもてなしせんぼくの今後の方針について

**質問** 現状と今後の方針について伺う。

また、多くのスタッフの退職とクリオンの宿泊事業について伺う。

**答弁** 最大の課題はキャッシュフローの改善である。国



■(株)おもてなしせんぼくの本社（花葉館）

内外の交流人口も増え始め、前年より観光客も増えていく。「(株)おもてなしせんぼく」では、宿泊料金の値上げや通信販売商品価格の見直しと製造ラインの改善、施設間の相互送客の取組み等で、成果が見え始めている。今後の方針については、山田コンサルティングの支援を受けながら、近々に決まる予定である。

スタッフの退職については、新会社設立後、自己都合退職があり定年退職もあつた。今の見込みでは、再編案で示した人員を割り込む想定にはない。

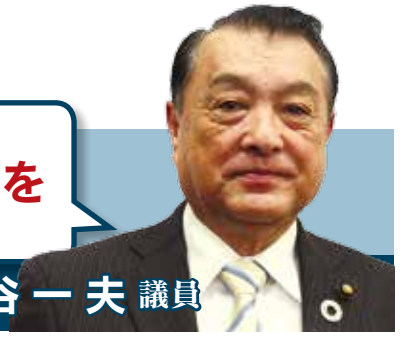
クリオンの宿泊については、観光シーズンや週末に一定数の需要が見込めることで、宿泊事業の継続を検討している。

### 総合体育館建設について

**質問** この構想には、長い歴史があるが現時点での考えを伺う。

**答弁** 規模や設備等の再考、ニーズの実態調査を踏まえた上で慎重に進めていく必要があると考えている。

(中村和彦記)



公明党 熊谷一夫 議員

子育て支援の充実と、高齢者への敬愛の心を

市長

子育て環境のさらなる向上と<sup>ひっばく</sup>逼迫する仙北市の財政状況にご理解を

仙北市の子育て応援  
トータルプランについて

**質問** 本市における0歳時の見守り訪問事業の現状を伺う。

**答弁** 産前、産後において、これまで同様に丁寧な状況確認を行い身体、精神面でのサポートを続け、令和6年度からは子ども家庭センターを設置することで更なるサポート体制の拡充を図っていく。

**質問** 産後の母親に寄り添う家庭支援員の確保はどうか。

**答弁** 仙北市における産前、産後のサポートから補完している部分ではあるが、家事支援サービスについては、令和5年度以降は自己負担無しの全額公費負担にする予定であり、産後の支援も充実させていく。

**質問** 仙北市の子ども食堂の現状と今後の取り組みについて伺う。

**答弁** 仙北市には運営するための支援団体が無く、開設はされていないが、仙北市子ども



■子どもも高齢者も暮らしやすい仙北市に！！

貧困対策推進計画の第二期計画においても重要な位置付けであることから、開設支援に向けた取り組みを検討していく。

敬老祝金条例5千円支給廃止について再考を

**質問** 満80歳に5千円の祝金を貰うのを生きがいにしていく方々の、老後唯一の楽しみを削る事にした経緯はどういったものか。再考を強く求める。

**答弁** 先人達には感謝と尊敬を心から感じており心苦しい

が、財政調整基金が3,700万円まで落ち込む等、厳しい財政の中、少子対策事業費の一部に充当する予算としている。例えば5千円であっても市にとって大変貴重な財源であることにご理解いただきたい。

带状疱疹の予防ワクチン接種費用の補助について

**質問** 全額自己負担の為、金額が高く高齢者の大きな負担となっている、本市の患者数と接種状況についてどうなっているか。

**答弁** 本市における患者数は把握していないが、国の資料によると日本人の成人9割が潜伏感染しているとされる。任意接種であるが参考までに、令和4年4月～12月まで、田沢湖病院では11人接種しており、角館総合病院では接種者なしだった。

**質問** 今後のワクチン接種費用の補助はどのように取り組むか。

**答弁** 令和5年度当初予算にてワクチン接種1回につき5千円の助成を予定している。市民には、ホームページや広報、仙北市公式ラインの

セグメント配信を活用し周知に繋げていく。

学校教育における部活動の地域移行について

**質問** 各中学校の部活動の現状と地域移行の方向性はどのようになるか。

**答弁** (教育長) 各中学校の部活動の現状は、野球、バスケ、トボール、吹奏楽で複数の合同チームが編成されている。令和5年度には、仙北市地域運動文化部活動検討運営会議を開催し、関係団体の意見や要望を集約し、令和6年度に土日の地域移行やクラブチーム化を検討するために総括コーディネーターを配置する予定である。

**質問** コーチや指導員の確保及び、地域移行に向けての周知について

**答弁** (教育長) 令和6年度以降は部活動指導員の増員を考えており、併せて指導者の育成にも努めていく。保護者等への理解、周知方法については、学校のPTA参観日や、広報等で現状と今後の方向性について説明していきたい、更に意見交換会やアンケート調査も行う考えである。

(澤田雅亮記)

高齢者の除雪支援制度を拡充できないか

日本共産党 平岡 裕子 議員



市長 住民税均等割のみの課税世帯にも拡充する

高齢者の生活支援の充実に

**質問** 高齢難聴者の補聴器購入費の助成が令和5年度の当初予算に計上されているが、いつから開始予定で予算をオーバーする希望者の対応はどうするのか。また、磁気ループ設備を整備し補聴器使用者への聞こえの支援ができないか。

**答弁** 令和5年4月1日から補聴器の購入費助成を開始する。10名分を予算化しているが、超えた場合は、その都度検討する。磁気ループ設備（※）は、貸出し用の携帯型の導入を検討したい。

**質問** 高齢者の除雪支援制度を課税世帯であっても対象にすることはできないか。

**答弁** 令和5年度から住民税の均等割のみの課税世帯も対象にする予定である。また、地域の若い人たちがお年寄りを支えていくことも必要だと思っている。

国保税の負担軽減で市民の暮らし応援を

**質問** 国民健康保険税の家計における負担は非常に大きい。本定例会での国保税条例

の一部改正により、若干の軽減が図られるようだが、国保基金や予備費等を見ると、更なる軽減が可能ではないか。また、今後の被保険者数の減少等により国保会計はどのように展開していくのか伺う。

**答弁** 地方税法の改正により、令和4年度から未就学児の均等割額が半額になっている。さらなる対象年齢の拡大を国に要望していく。

また、国保財政調整基金の残高は、令和3年度末で6億1,197万円であるが、団塊世代の後期高齢者医療制度移行による国保被保険者数の減少や医療の高度化により一人当たりの医療費が増加することや、今後の保険料水準の統一に向けた事業費納付金の負担増などに備えたい。

秋田銀行への行政財産の貸付けについて

**質問** 田沢湖開発センターを秋田銀行田沢湖支店の仮店舗として貸付けられること、議会への報告は、タ

ブレットに掲載しての事後報告であった。行政財産を民間企業に貸すことが可能なのか。貸付けの詳細を伺う。

また、不特定多数の人の往来が増加する公共施設のセキュリティ対策はどうするのか。

**答弁** 秋田銀行からの要請で公表を控えており、12月定例会での報告ができず事後報告となった。行政財産の民間企業への貸付けは可能である。貸付け箇所は、食堂と調理実習室及び2階の図書資料



田沢湖開発センター内で仮店舗営業中の秋田銀行 田沢湖支店

住宅リフォーム促進事業の復活を望む

展示室である。秋田銀行がリニューアル工事を実施し、使用料は本年12月12日までの1年間で46万円とし、光熱水費は面積按分とした。セキュリティは、セコムと契約して防犯対策を強化している。

**質問** 令和5年度に廃止される住宅リフォーム促進事業は、令和3年度の補助金の決算額583万5千円に対し、対象の工事費の総額が1億4,289万3千円であり、20倍以上の経済効果を生み出しており、市民及び事業者のために継続を望むものである。景気が低迷している時だからこそ、中小企業の支援が必要ではないか。

**答弁** 仙北市は他市町村と比較して財政が逼迫しており、これまでの事業を削らなると当初予算が組めない状況にある。住宅リフォーム促進事業は平成22年から続けてきたが、申請件数も年々減少しており、事務事業評価により廃止としたことにご理解を願いたい。

(高橋輝彦記)

用語解説

・磁気ループ設備とは…マイクの声などを専用のアンプを通して、床に這わせたループ状のアンテナに電気信号として送ることで音声磁場ができて、磁気コイル付補聴器で鮮明に聞こえる設備。



荒木田 俊一 議員

農業用肥料高騰対策に、  
国からの支援以外はないのか

市長 厳しい財政状況下で、独自の支援は困難である

再生産に必要な収入  
確保対策を

**質問** 現在、コメの生産費は、60kg当たり1万4,758円、令和2年に1,276円だった肥料が、昨年の暮れは、3,410円で2倍以上高くなっている。収量は、水田の状況により異なり、赤字を目的前にして、農家は後ろ向きになる。現状をきっちり把握してほしい。農業が廃れたら仙北市は終わりだ。これからでも遅くはない。市の支援策はないか。

**答弁** 近隣市町村で独自の支援を実施していることは承認している。厳しい財政状況での現時点では、市独自の支援は困難と考えている。

**質問** 国の支援ばかりに頼るのではなく、地域にある資源（堆肥センター）を活用して、減肥や減エネルギーに向けた農業政策を模索しなければならぬと考えるがいかがか。

**答弁** 4月から、堆肥センターで生産される「仙北の底力」を大口購入農家支援のため、10㎡を超えた分から半額とする予定である。市のホームページや広報で周知する。

消防団員の退職時  
家族労金支給事業  
廃止について

**質問** 事務事業評価だけをもって、議会や住民に何の説明もなく、いきなり廃止することは乱暴ではないか。

**答弁** 昨年11月の消防団正副団長会議で、12月の分団長会議で、令和4年度をもって廃止すると話した。意見はなかったので理解を得たと思っている。各分団や本部に所属する団員まで周知をお願いした。4月から、全階級の年報酬や出勤報酬を増額する。

**質問** 条例は、10年や20年勤続団員に残ってもらいながら新しい団員を確保のするためと、共に頑張ってくれている家族も慰労すべきとして作った。入団者が増えていない。報酬を増額したから、慰労金支給を止める理由にはならないと思うがどうか。

**答弁** 条例の解釈に不備があったかと思うが、財政状況もあり廃止とした。

自然災害に対応できる  
市の組織や職員、  
市民の対応は

**質問** 市内に、土砂災害の危険区域の看板で災害発生しやすいエリアを表示しているが、発生した際の対応をどうするか、具体策が見えない。訓練は必要だと思いがいがか。

**答弁** コロナ禍で市の防災訓練が満足にできていない。令和5年度は、各関係機関から協力をいただき防災訓練や防災教室を実施する。2名の防災士の育成と共に、自主防災組織率の向上にも力を入れたい。

秋田新幹線新仙岩  
トンネル整備について

**質問** 促進期成同盟会に本市も加盟し、本市は重要な役割を担っている。昨年、11月9日開催の、秋田新幹線新仙岩トンネル整備促進大会に、市長・副市長が欠席で、総務部長の出席となった。日程を調整して市長か副市長は出席すべきと思うが見解を伺う。

**答弁** 4月に日程が決まっております。前日から、会長を務める大曲鷹巣道路・国道46号盛岡秋田道路整備促進期成同盟会

の要望活動等で上京していた。副市長は、県副市長会議に出席となった。地元から盛り上げていかなければ、新仙岩トンネルの実現は難しいので、今後しっかりと対応したい。

J A手倉野倉庫付近  
の道路改良について

**質問** 側溝側に20cm以上の勾配があり、冬期間、側溝に滑り落ちる車を見かける。要望して10年以上になるが、改良の兆しがない。なぜ、できないのか。

**答弁** 市道生保内中央線等継続事業が多く、向生保内線事業着手に至っていない。財政状況を加味しながら、できるだけ早い改善に努めたい。

(平岡 裕子記)



■勾配の著しいJA手倉野倉庫付近の道路

更なる河川改修工事の促進で、  
住民の不安を解消すべきだ

議員 蒼生会 小林幸悦



市長 引き続き、県に対し強く要望していく

入見内川及び川下田川の改修工事のさらなる促進について

**質問** この両河川は、平成後半に3回大きな被害が出ており、その都度、県に対し改良工事を要望し、毎年少しずつ工事は進んではいるが、まだまだ上流に流れを阻害する箇所が数カ所あり、現在の進捗状況では工事完了まで何十年もかかるように思われ、雨が降ると住民の不安は解消されない現状にある。

今後の両河川の工事についての情報を伺う。また、工事促進を県に強く要望して欲しい。

**答弁** 入見内川の河川改修工事は、令和4年度県単河川改良工事で護岸工延長48・8m、坂路工9・3mを実施予定。川下田川の河川改修工事は、護岸工延長25・3m、用地買収、右岸228mを実施予定。令和5年度の河川改修工事は、入見内川では護岸工延長70mと、川下田川



■大量の土嚢を積んで越水防止のさわやか桜館前

は護岸工、用地買収を予定しているとのことである。両河川の河川改修工事については、仙北地域振興局との行政懇談会等で、引き続き強く要望していく。

**質問** 西長野地域に避難指示の判断を出す地点として田中観測所は、妥当な地点なのか。現在は河川改修が進んでおり、月見堂橋付近に観測所を設置するということができれば、より正確な判断を出せると思うがどうか。

**答弁** ご指摘のとおり、入見内川は河川改修が進んでいることから、大雨時の水位状況を確認し、河川管理者である仙北地域振興局に月見堂橋付近への水位観測所の移設や増設を要望していく。

**質問** 西長野地区の避難場所である西長野交流センターは、立地条件や設備面、情報収集の手段等、避難所として、特に高齢者には適していない状況にあることから、設備の整っている角館庁舎か、できれば花葉館を避難場所として開設できないか伺う。

**答弁** これまで、西長野地区の避難所は西長野交流センターに開設したが、昨年8月の避難所開設時には、設備面での課題も指摘されている。角館庁舎は距離が遠いことから、花葉館が高齢者の方にも避難しやすく、設備も充実している場所である。早急に協議し花葉館も避難場所として開設できるように取り組んでいく。

市長が目指す「幸福度日本一」について

**質問** 人は何をもちて幸福を感じるかは千差万別であり、個人の価値観の多様性により

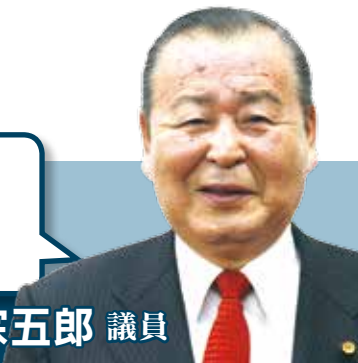
画一的な判断基準はないと思われるが、市長が目指すこの「幸福度日本一」になるには何をどうすればよいのか。令和5年度において、それを達成するための具体的な事業等があるのか伺う。

**答弁** 我々らしい幸福度とは何かという検討を進めていく。

現在は市民意識調査を中核として市民全体と年齢、性別、地域別での全体としての幸福度及び6つの個別指標「やりたいことがある」「やりたくないことに向けてチャレンジしている」「日々の暮らしで生きがいを感じている」「自分のことを大切に思ってくれる人がいる」「頼れる人がいる」「自分の居場所や役割がある」での測定を開始している。施策全般でも何らかの形でそれぞれの指標が向上できるように施策の推進を進めていく。

市の全ての事業が幸福度を高める6つの指標を達成するために必要な事業と云えるが、一人ひとりの心のあり方が幸福度を満たすよう、市民の生の声を聞き、施策を展開していきたいと考えている。

(真崎寿浩記)



議員 青柳宗五 蒼生会

田沢湖再生のために努力を

市長 国へ強力に要望していく

田沢湖の再生への取り組みと観光について

**質問** クニマス発見から約12年の間、どのような取り組みをしたのか。

**答弁** 秋田県に対して田沢湖の再生と環境保全の着実な推進について継続的な取り組みを要望し、令和元年度から国・県・東北電力と市が情報共有と課題等を整理することを目的とした勉強会を毎年開催している。

**質問** 田沢湖の護岸整備の進捗状況を伺う。

**答弁** 平成13年から25年度までの13年間で約50億円の費用をかけて整備が完了している。現在、護岸の浸食等による工事の必要な箇所等の報告はない。また、景観の維持管理のための工事の予定はされていない。



雪解けの田沢湖を訪れる外国人観光客

**質問** 田沢湖の観光についての取り組みについて伺う。

**答弁** オルタナティブ(※)な需要の開拓を目的として、田沢湖リゾート(※)という新しい価値観の提案を行い、積極的に誘客活動を進めている。市としても、地方創生推進交付金を活用し、地域に住む私たちが本来もつ地域資源や景観価値を再認識することを目的として田沢湖リゾートイベントを実施したほか、

現在活動を行っている複数の民間事業者が中心となって秋田アウトドアベースという団体を結成し、連携を深め、さらに新しい事業活動を展開している。

国や県でも田沢湖を含む自然公園等について、秋田県立自然公園条例も保護と利用の好循環の実現に向け改正が進められている。

また、湖面の安全確保や湖面環境の維持改善については、今年度DMOと田沢湖角館観光協会が中心となり、国・県・民間団体などを集めた田沢湖ラウンドテーブルを核として湖畔の活用や景観保全などに関して意見交換を開始するなどの取り組みを進めている。

**質問** 国に田沢湖再生を要望する取り組みは考えられないか。

**答弁** 田沢湖の水質改善のため、国・県などに対して玉川酸性水中和処理施設に導入されていない未処理水の処理及び新玉川温泉排水の中和処理施設における処理の一元化について提案したが、実践するためには国・県などの経費負担増という課題があり、一元

化するとなれば、市の負担分が求められる可能性がある。

田沢湖の再生が思ったように進んでいない状況であり、田沢湖再生の加速化についての具体的な要望を引き出し、検討したい。

秋田自動車道西道路の延進について

**質問** 現状は大仙市で終了しているが仙北市まで延長する為の取り組みをする考えは。

**答弁** 大曲鷹巣道路整備促進期成同盟会では、地域経済活性化、観光振興に資するネットワークの確保を重点要望事項の一つとして要望活動をしている。

今後大曲鷹巣道路が秋田自動車道や本荘大曲道路、日本海沿岸東北自動車道へアクセスが向上することにより、地域経済活性化と観光振興のみならず、高次医療機関への緊急搬送や災害復旧支援等の迅速化が期待されることから、整備促進を国及び県に引き続き要望していきたい。

(西宮三春記)

用語解説

- ・オルタナティブとは…主流な方法に変わる新しいもの、代替手段
- ・リゾートとは…日常から離れてリフレッシュする時間を持ち、心身ともにリフレッシュすること